

大阪市中央区 地域活動協議会 活動ヒント集

Vol.3

地域を支え、元気にする地域活動を課題ごとにご紹介します



令和2年9月
中央区まちづくりセンター

本冊子のねらい

地域の各種団体が連携を強めることで、地域活動をより活発に、より効率的にしようとスタートした新しいしくみ「地域活動協議会」（略称：地活協）。平成 25 年に発足して 7 年が経過しようとしています。

この間、各地域では、「ふれあい喫茶」や「高齢者食事サービス」など長年取り組んでこられた事業を継続しつつ、新たな課題にも、みなさんの知恵を集め、チャレンジされています。

中央区まちづくりセンターには、各地域から、他の地域の活動についての問い合わせをいただく機会が増え、毎年開催している地域活動協議会活性化セミナーでは、それぞれの地域から新たな取り組みについて、ご紹介いただいています。

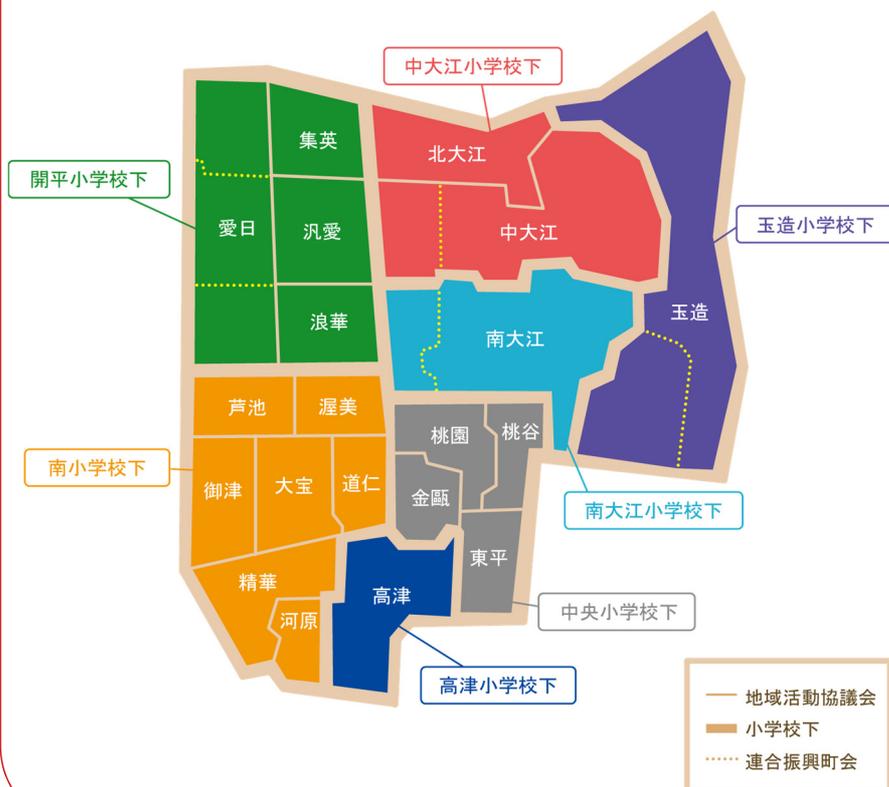
本冊子「活動ヒント集 Vo. 3」は、地域のご協力のもと、各地域の取り組みについてご紹介させていただいた「活動ヒント集 Vo. 2（平成 29 年 12 月発行）」に新たな項目を加えました。地域の課題解決、あるいは地活協の新たな取組みに向けて、ご参考にいただければ幸いです。



地活協（地域活動協議会）とは

地活協（地域活動協議会）は、地域振興会や地区（校下）社会福祉協議会をはじめとした地域団体や企業、NPOなどが幅広く集まり、地域課題などを話し合い、協力しながらまちづくりに取り組むしくみです。

中央区では、20 の地域活動協議会が活動しています。



地域活動協議会のねらい

- 地域活動への参加者の増加
- 地域の各種団体との連携の拡大
- 地域活動の担い手の発掘
- 地域に必要な新しい取組み実践

もくじ

1. たくさんの住民に地域活動を伝える	3
● 地域活動協議会紹介チラシ・ポスター・パンフレット（愛日、汎愛、桃園、桃谷、渥美など）	
● ホームページ・フェイスブック（浪華、北大江、中大江、南大江、桃谷、渥美）	
● 町会加入促進チラシ（愛日・北大江・中大江・河原）	
2. 新しい住民も気軽に参加しやすい活動を企画する	5
● モーニング喫茶（桃園）	
● 納涼ビアガーデン（桃園）	
● 島之内ふれ愛フリーマーケット（道仁）	
● 開平地域もちつき大会（愛日・集英・汎愛・浪華）	
● SEMBAL SEPTEMBER FES（芦池）	
3. 地域の安全は地域で守る	7
● 南小学校避難所開設訓練（御津・大宝・精華）	
● 南大江防災会議・南大江自主防災訓練（南大江）	
● 備災・減災のまちづくり（高津）	
4. 新たな担い手による新たな活動を企画する	9
● 高津わいわいまつり（高津）	
● 地域のこれからの考える意見交換会（中大江）	
● 桃谷男の料理教室（桃谷）	
● 東平月見の会（東平）	
● 北大江公園親子交流事業（北大江）	
5. お年寄りや外国にルーツを持つ住民の孤立化防止を工夫する	11
● 在留外国人のための相談会（精華）	
● 南大江土間カフェ（南大江）	
● 大宝住民座談会（大宝）	
● 大宝敬老会（大宝）	
● ふれあいいきいき事業（汎愛）	
6. 健康づくりに地域みんなで楽しく取り組む	13
● 南大江健康ウォーク（南大江）	
● たまつくり健康ハイキング（玉造）	
● 玉造地域健康講座（玉造）	
● 芦池健康教室（芦池）	
7. マンションなど建設段階から地域との関係をつくる	14
● 建設ガイドライン（中大江）	
8. 企業の協力で地域活動を多様化する	15
● 南船場子育て応援団（渥美・芦池）	
● インターネットでの広報活動（桃谷）	
9. 地活協設立以前から引き継がれている伝統事業	16
● たまつくり盆おどり大会（玉造）	
● サークルちゅーりっぷ（子育て応援団）（金甌）	
● 中大江校下子供太鼓巡行（北大江・中大江）	
10. まちの資源を活かして地域固有のにぎわいをつくる	17
● 北大江たそがれコンサート（北大江）	
● 伝えていきたい船場の思い出講演会（浪華）	
● 河原連合盆踊り大会（河原）	
● 桃谷おもろい塾・子ども野外調理体験（桃谷）	
● 船場ガイドブック「船場人」（愛日・集英）	

ホームページ・フェイスブック (浪華、北大江、中大江、南大江、桃谷、渥美)

★ インターネットを活用した広報

- ・ホームページやフェイスブックを活用し、若い世代に向けて情報発信します

★ インターネットを活用する際の注意点

- ・ホームページやフェイスブックは、不特定多数の方に広く情報を気軽に発信できます
- ・一方で、誰でも目にすることができ、写真などが鮮明なため、容易に個人を特定できてしまうため、個人情報に対する配慮が必要不可欠です
- ・円滑に情報発信するためにも、発信する情報を取り扱うルールや担当者を定めることが大切です

★ まちづくりセンターでは、ホームページとフェイスブックページを作成・運用支援しています



ホームページでの情報発信



フェイスブックでの情報発信

中央区まちづくりセンターホームページ
<https://chuoku-machisen.jimdo.com>



中央区まちづくりセンター フェイスブック



町会加入促進チラシ (愛日・中大江・北大江・河原)

★町会加入促進に向けた取組

- ・イベント時に町会加入をPRするチラシを配布しています
- ・地活協のパンフレットやポスターに町会加入のPR文を記載しています
- ・「気軽に」「わかりやすく」作成することがポイントです



新しい住民も気軽に参加しやすい活動を企画する

新しい住民、特に子育て世代や若い人が地域活動に参加を促すために、企画に成功している取組みがあります

課題

- ・ふれあい喫茶など行事への参加者が固定化している
- ・マンションが増加するなか、新しい住民、特に子育て世代や若い人が参加しやすい行事やきっかけが少ない

課題を解決するための手法



- ・子育て世代や若い人も参加しやすい週末などにイベントを企画する
- ・子育て世代や若い人が楽しめるイベントをPTAなどと一緒に企画する

モーニング喫茶（桃園）

★ 誰でも参加できるように開催日を変更

- ・「ふれあい喫茶」を毎週金曜日に開催していましたが、参加者の固定化が課題でした
- ・また、住民アンケートでは「日程が合わない」という意見もありました
- ・そこで、住民が気軽に参加できる日曜日（奇数月）に、新たに「モーニング喫茶」を始め、好評を得ています

★ 一部の人に負担が偏らない工夫

- ・運営スタッフは、地域住民や喫茶参加者に声をかけ協力を依頼するなど、新たなメンバーが担い手となっています

モーニング喫茶

喫茶店のモーニングのように気軽に参加してほしいという思いを込めて名付けられました



納涼ビアガーデン（桃園）

★ 新しい住民が初めてでも楽しめる企画を立案

- ・マンションが増加するなか、新しい住民にも地域活動に親しみやすく、初めて参加する人でも一目で楽しそうと伝わる企画「地域版ビアガーデン」を立案しました
- ・子ども連れでも気軽に参加できるように、子ども向けの夜店を設けるなど工夫しています

★ 若い世代が中心となり運営し、同世代の住民を取込む

- ・子ども会や青年会、青少年指導員など若い世代が中心になって運営しました
- ・口コミやインターネットなどで人の輪が広がり、マンションに住む新しい住民、特に30～40歳代が多数参加する行事として定着しています



ビアガーデン
スーパーボールすくい
ひもつりもあるよ！

8月31日(土) 18:00~21:00 4日時

場所 ▶ 桃園会館・東広場
砂かたでお越しの方に粗品進呈！
公園での花火は禁止です。
公園でのゴミは持ち帰りましょう。

生ビール	200円	焼きそば	100円
お酒	200円	餃子	100円
チキンスイ	200円	お好み焼	100円
ソフトドリンク	100円	フランクフルト	100円

料金

桃園地区地域活動協議会
桃園連合振興町会
〒101-6762 東京都足立区
5-1-1 桃園会館
TEL 03-5821-5999

島之内ふれ愛フリーマーケット (道仁)

★ 手づくり品や掘り出しものを売り買いしながら気軽に交流

- 中央会館での島之内ふれ愛フリーマーケットは、ものの売り買いを通じて誰でも気軽に交流できる恒例行事

★ 子どもたちが主役のハロウィンコンテスト

- 10月と言えば...と、新たに組み合わせられたのが、ハロウィンの仮装体験とコンテスト。地域の若手メンバーが子どもたちのために企画しました
- 仮装体験のペインティングや衣装は高津理容美容専門学校の学生が担当。コンテストでは、子どもたちは思い思いの仮装で、すっかりなりきって舞台上に登場。役員のみなさんの「イイネ」のフリップにおとなも子どもも会場全体が大いに盛り上がりました



開平地域もちつき大会 (愛日・集英・汎愛・浪華)

- たくさんの種類のおもち、白味噌のお雑煮は地域の飲食店の協力のもと丁寧に仕上げられた船場自慢の味です
- 愛珠幼稚園や開平小学校の保護者のみなさんがつき手やスタッフとして参加し、子どもたちもつき手やおもちを丸める作業をお手伝い、地域の伝統を子どもたちに引き継ぎながら、幅広い世代が交流を深めています



SEMBAL SEPTEMBER FES (芦池)

★ 「南船場」を発信！

- ビルオーナーや商業者を中心に、地域の若手メンバーが「南船場を盛りあげよう！」と企画。魅力いっぱいの南船場へ関心をもってもらいたい、商業者と地域に住んでいる方とのつながりをつくりたい、魅力を発信していきたいとの思いをこめて企画。たくさんの店舗に声をかけ、難波神社の協力を得て実現しました
- 買い物客に加えて、近隣のファミリー層も参加し、南船場の魅力にふれる機会となりました



地域の安全は地域で守る

大きな災害が発生したら…。南海トラフ地震、上町断層地震と大きな二つの地震の発生が想定されている中央区内では、地域の安全を守るために、地域の特性にあわせた取組みが行われています。

課題

- ・災害が発生した場合、どのように行動すればよいのかわからない
- ・毎年行っている訓練はマンネリ化し、参加者が減少しがち

課題を解決するための手法



- ・多数、多様な関係者に訓練への参加を呼びかけ、訓練を何度も繰り返し、イザという時の的確な判断ができるようにする
- ・訓練は、毎年の企画と反省のもと計画的に積み重ね、年度ごとのテーマを定めて行う

南小学校避難所開設訓練 (御津・大宝・精華)

★「助かる命は助ける」を合い言葉に学校、PTAと密に連携

- ・南小学校では、「助かる命は助ける」を合い言葉に、御津、大宝、精華の3地域が協力して、避難所開設訓練を行っています
- ・小学校とは密に連携し、6年生が各班に入り、訓練を実施し、将来、災害時の力になってくれることを期待しています。また、訓練終了後には児童の引き取り訓練を行っています

★物心両面の備えが大切

- ・「物」の面では、トランシーバーや乾電池、救急セットなど毎年計画的に購入し、リストに整理
- ・「心」の面では、正しい判断、迅速なアクション、近隣の協力が何よりも大切と、話し合いを重ねています

南小学校 備蓄品リスト (大宝・御津連合) 2016.11 現在
1年約25万円の予算。4年かけて備蓄(計約100万円)地活協の補助金を利用

管理No.	品名	入数	単価	数量	総数	金額	備考	購入年	期限切れ
1	ケンウッドトランシーバー UBZ-LM20BK	1	9,380	8	8	75,040	避難所各部連絡用(便利!)	###	ほぼ10年
2	ケンウッドトランシーバー イヤホンEA20R UBZ-LP	1	1,080	8	8	8,640			
3	トイレットペーパー	18	429	12	216	5,148	避難所用に限定 避難者には配らない。 10年保存可	###	ほぼ10年
4	ティッシュペーパー	5	246	24	120	5,904			
5	単1乾電池 エボルタ	10	2,170	10	100	21,700			
6	単2乾電池 エボルタ	10	1,630	6	60	9,780			
7	単3乾電池 エボルタ	100	7,386	2	200	14,772			
8	単4乾電池 エボルタ	40	4,430	5	200	22,150			
9	おしほりウェッティ	1	375.84	24	24	9,020			
10	除菌ウェット	1	204.12	72	72	14,697			
11	サバイバルシート	5	504	60	300	30,240	2013		
12	伸縮ホータイ「ニュークロス」5cm幅	10	1,470	5	50	7,350			
13	伸縮ホータイ「ニュークロス」9cm幅	10	2,310	5	50	11,550	2015.1		
14	袋型包帯 安心切れるネット(手首・肘)	1	430	5	5	2,150			
15	袋型包帯 安心切れるネット(膝・足首)	1	430	5	5	2,150	2016.9		
16	三角巾 大(個別包装)	25	9,712	2	50	19,424			
17	手袋 M	100	997	3	300	2,991	2017.1		
18	手袋 L	100	997	2	200	1,994			
19	滅菌折りガーゼ M	100	1,942	2	200	3,884	2015.5		
20	滅菌折りガーゼ L	100	2,394	1	100	2,394			
21	ガーゼ10m	1	441	2	2	882	2016.1		
22	カット綿(徳用) 4cm×4cm 1kg	1	1,890	2	2	3,780			
23	抗菌コットンランド綿棒	200	115	2	400	230	2016.7		
24	マキロンS ジェット&スプレー 80ml	1	823	10	10	8,230			
25	マキロンS 75ml	1	544	4	4	2,176	2016.7		
26	精製水500ml	1	150	20	20	3,000			
27	ニチバン サージカルテープ21N	24	3,990	1	24	3,990	2016.7		
28	ケアリーブ 救急絆創膏 M	100	1,575	4	400	6,300			
29	タイボウ MS冷シップ 20g×5枚×30袋	150	4,200	1	150	4,200	2015.5		
30	カネバS 手指消毒剤500ml	1	2,268	2	2	4,536			
31	ピンセット		105	3	0	315	2016.1		
32	トゲ抜き		105	3	0	315			
33	ハサミ		105	3	0	315	2016.1		
34	つめ切り		105	3	0	315			
35	体温計	1	1,380	3	3	4,140	2016.1		
36	生理用パッド(夜用)	20	213	25	500	5,325			
37	生理用パッド(昼用)	22	213	18	396	3,834			



南大江防災会議・南大江地域自主防災訓練 (南大江)

★ 毎年場所とテーマを変えて実施

- 南大江地域には、3つの災害時避難所があり、地域住民に3つの避難場所を知ってもらい、興味を持って参加してもらえるようにと、毎年、場所とテーマを変えて防災訓練を実施しています

★ 大切なのはみんなの意見

- 防災訓練のマンネリ化を防ぐ一番の工夫は、必要な訓練、やりたい訓練を行うこと。それが、毎年、訓練の前に実施している「南大江防災会議」です
- 防災会議では、100人近くの参加者が集まり、小グループでわかれて意見交換。地域公共人材の協力も受けています



★ いつかの災害に備えた「安否確認ステッカー」

- 大阪北部地震、平成30年の台風など、相次いで生じた災害後の防災会議から具体化した取組みが「安否確認シート」
- ふだんはお守り代わりに玄関付近においておいて、災害時は、玄関の外側に貼ることで、ご近所に安否を知らせます！



救助 求める SOS

南大江地域活動協議会

記入日 年 月 日 ×モ
 名前
 連絡先

災害時に玄関のドアの外側に貼って下さい

無事です

南大江地域活動協議会

部屋にいます 避難しました

災害時に□に✓を入れて プレーカー等とし、元栓を閉めました。
 玄関のドアの外側に貼って下さい 電気 水道 ガス

記入日 年 月 日 ×モ (避難先などご記入下さい)
 名前
 連絡先

備災・減災のまちづくり (高津)

★ 「ブロック一時立寄所」を活用した集団避難

- 訓練の受付の時に「どの町会ですか？」と聞いても、どの町会なのか、町会名を知らない人が多いことが課題でした
- そこで、町会ではなく住所で地域を10ブロックに分け、各自が最寄りの「ブロック一時立寄所」に集まり、安否確認してから避難するように工夫
- 2017年には「ブロック一時立寄所」に加えて、AED設置箇所、公衆電話、医療施設など、高津地域内の防災に必要な情報がまとまった独自の「災害対応マップ」を作成し、全戸配布しています

★ 学校や企業とも連携して地域全体で防災意識の向上を

- 高津小学校の土曜授業にあわせて、保護者への児童の引き渡し訓練も行い、PTA世代も参加できるよう工夫しているほか、高津理容美容専門学校の生徒も参加しています

高津地域 災害対応マップ

高津連合避難ブロックエリア

高津連合避難ブロックエリア

印の立寄所へ集合してください。



高津連合 一時立寄所

新たな担い手による新たな活動を企画する

地域活動の負担が一部の人に集中しないように、新たな担い手を取り込むことで、地域一丸となった取組みが行われています

課題

- ・地域の担い手が固定化・高齢化し、世代交代が進んでいない
- ・若い世代が行事の企画に関わる機会が少なく、若い世代の意見を反映した新たな活動が展開されない
- ・ワークライフバランスよく、働き、暮らし、地域と関わることは難しい

課題を解決するための手法



- ・若い世代が主体的に地域活動に関わるように、若手に企画を委ね、上の世代がサポートする
- ・一部の人に負担が集中しないように、たくさんのメンバーが関わる実行委員会方式で行う
- ・子育てママが集まって外にでる機会をつくり、地域や社会と楽しく関わる

高津わいわいまつり (高津)

- ★ 既存の役員が若手をサポートし、新しい取組みをはじめ
 - ・青年三団体（青少年指導員、子ども会、青年会）の発案で、地域が連携・協力して行う新しいイベントを企画し、地域を熟知した自治連合会の役員がバックアップ
 - ・若いメンバーから依頼しづらい団体・企業などは、自治連合会が間に入ることでスムーズに調整が進められた結果、連合振興町会をはじめ、PTAなど10を超える団体が協力。さらに、高津宮など地域内の企業など多数の協力・協賛を得ました
 - ・企画したメンバーに負担を集中させず、しっかりと既存の地域団体が連携・協力して地域ぐるみのイベントにすることで、新たな担い手の確保・育成につながっています



地域のこれからを考える意見交換会 (中大江)

- ★ 地域のこれからを地域で考える
 - ・地活協の発足を機に、数年後を見越した地域づくりに向けた地域活動のあるべきすがたを検討
 - ・結果、「掲示板の設置」「フェイスブックの立ち上げ」「地活協役員メンバーの充実」
- ★ 若い世代が考えるこれからの地域
 - ・若手メンバーの自由な意見を引き出すワークショップ形式での意見交換会を開催しました
 - ・まちづくりセンターでは、このような意見交換会のお手伝いをしています



中大江東地域活動協議会

地域のこれからを考える意見交換会

10月23日(水) 19:00~20:00

中大江校下センター

【まちの未来と地域活動、地活協について】

今年3月、中大江東地域活動協議会が発足しました。新しい展開が期待されています。中東協にぜひ参加し、みなさんと一緒にまちのこれからを考えてみたいと思います。お気軽にご参加ください。

ワークショップ形式で自由な意見を発言し、地域の未来について話し合います。

このイベントは、若手メンバーの意見を聞き、地域の未来について話し合います。

参加費は無料です。

申し込みは、中大江校下センターまでお願いします。

中大江校下センター 中大江東地域活動協議会

お問い合わせ先：中大江校下センター 中大江東地域活動協議会

〒258-0202 中大江校下センター 中大江東地域活動協議会

TEL: 06-6910-7905

桃谷男の料理教室 (桃谷)

★ 料理を通じて、男性どうしの交流とアクティブシニアの人材発掘

- 居場所がない、地域とのつながりが少ない退職シニアなどをねらって、男性が気軽に参加できないかと企画。商店街の飲食店などの協力も得て、地域の有志で事業が立ち上げられました
- これまで、地域行事に参加したことのなかった男性が参加し、さらに、他の行事にも参加するようになるなど効果が波及しています
- 料理は素人だった参加者が交替で講師役を務めるという大胆な試みで、事前にテレビ番組などを見てメニューを考えたりして積極的に料理を楽しんでいます
- お世話役の女性に、参加者の男性が料理を振る舞うという企画が大変好評で、料理を通して地域の親睦が深まっています



東平月見の会 (東平)

★ 地域の力を結集して、地域らしく盛り上げる

- 「新しい住民やファミリー層に、もっと地域活動を知って、参加してほしい！」東平月見の会は、そんな想いのもとはじまった秋の新イベント
- 「オール東平・メイドイン東平」を合い言葉に、各町会や団体のノウハウやアイディアを積極的に取り入れ、地域みんなで企画を進めました
- ベबीカーを押しながら参加したファミリーからお年寄りまで、ジャズ演奏の合間には、“お月さま”をみんなで眺め、一体感が生まれました



北大江公園親子交流事業 (北大江)

★ 子育てママが外に出るきっかけづくり

- 子育て中の「ママ」が、外に出るきっかけをつくり、子育て世帯に地域活動に関心をもってもらうと、公園で子どもの世話をしながら仕事ができる「北大江ピクニックオフィス」を2017年度に企画・実施
- その後、参加した「ママ」どうして新たな活動の話が進み、絵本を持ち込んだり、工作ワークショップを取り入れたりと、いろいろな試行錯誤しながら、子どもの遊べる環境の充実など取組みが発展

★ 他の活動と連携して活動に広がり

- 2019年度から同地域で大阪国際女子マラソンの日に合わせてパーククーヘンづくりや防災体験などを行う「あったか北大江まち祭り」のイベントに合わせて、青空のもとで紙芝居や絵本の読み聞かせを行う「青空ライブラリー」を実施
- 地域内の他の団体との連携した活動にも広がりつつあります



お年寄りや外国にルーツを持つ住民の孤立化防止を工夫する

子ども、お年寄り、外国にルーツを持つ住民などが地域で安心して暮らしていくために、地域の見守りに取り組んでいます

課題

- ・子ども、お年寄り、外国にルーツを持つ住民など、孤立してしまうリスクがある

課題を解決するための手法



- ・住民の課題や関心に合わせて、孤立化防止のための活動に取り組む
- ・専門性やノウハウが必要であるため、NPO や公的な団体の協力を得てみんなで支える

在留外国人のための相談会（精華）

- ・外国にルーツをもつ住民を孤立させないためにも NPO 法人 CHARM やサウスイーストアジアコミュニティ、Minami ☆子ども教室などの各種団体や区役所と連携し、健康・子育て・生活に関する相談会や講演会など取り組んでいます
- ・その他、日本文化を体験してもらうなど、多様な視点からの見守り、交流活動に取り組んでいます
- ・特に健康相談会では、「言葉の問題で医療機関を受診したくてもできない」、「健康状態を知る機会が少ない」など、不安や悩みを抱えている方に対応し、さまざまな言語に対応できるよう通訳のボランティア、日本の医師や看護師、保健師も参加し、通訳を交え、気軽に参加できる場となっています



南大江土間カフェ（南大江）

★ ひとり暮らしのお年寄りの住まいを交流拠点に

- ・ひとり暮らしのお年寄りの住まいを開放。気軽に集う「立ち寄り処 てる」を新たに立ち上げました
- ・地域住民が集い、認知症についての理解を深め、地域での支え合いについて楽しみながら考える「土間カフェ」を開催
- ・自宅に地域の人が集まることで、見守られているだけでなく「もてなす」ことでお年寄りが元気になっています
- ・東西に長い南大江地域の東側に拠点ができて、子育て世代などこれまでに地域とつながりのなかった人たちとも交流できるようになりました



大宝住民座談会 (大宝)

★ 地域の要援護者の孤立を防ぐために

- 「70歳以上の高齢者がどこにお住まいかご存じですか？青のシールのところにお住まいです。結構、たくさんおられますね」「その中で、現在、地域の方などに見守られている方は赤のシールの方です」と、ふれあい喫茶のあとで、大きな地図を見ながらはじまった話し合い
- 青のシールの方が赤のシールになると安心。「地域の高齢者をどのように見守っていくのか」という課題に、どうしたらよいか気軽に話し合おうと、地域福祉コーディネーターを中心に、区社協の協力を得て企画された「大宝住民座談会」
- 「行事に参加していない人が心配」「会館で楽しい行事ができれば集まるんじゃない？」地域 みんなでお年寄りを見守っていこうとのやさしさの輪が広がっています



大宝敬老会 (大宝)

★ 活動の発表の場を兼ねた楽しいふんいきの敬老会

- 大宝敬老会では、民謡部、詩吟部、ハワイアンフラダンスによる発表の後は恒例のカラオケ大会で盛り上がります。フィナーレは、会場全体で参加者みんなが一体となった河内音頭でしめくくり。敬老会は、地域のつながり、コミュニティの大切さを再確認する場となっています



★ 欠席したお年寄りへの見守り活動

- 「足が悪く、でかけにくい」など、敬老会に欠席された方への配慮にも熱心に取り組んでいます。会館まで取りに来られる方もおられますが、来られない方には、町会長や役員の方が手分けして、一軒一軒を訪ね、見守りを行っています



ふれあいいいきいき事業 (汎愛)

★ ふれあい喫茶・ふれあい食事会(高齢者食事サービス)や、ふれあいいいきいき教室を実施

- 汎愛地域では、お年寄りの方をはじめ地域の方が気軽に集まれる居場所づくりをしようと、ものづくりやパステル画などを行ういどばた会や日舞、茶道、着付、囲碁、健康体操などを開催しています。小グループ活動の交流の場や機会づくりとなり、いきいきと活動しています
- みなさんが参加しやすいように、ふれあい喫茶やふれあい食事会(高齢者食事サービス)と合わせて実施し、内容的にも毎回、趣向を凝らして地域の絆を大切にしています
- お世話をされているボランティアの方々は、困りごとがないかなど参加者の一人一人に声かけをしたり、丁寧な見守り活動など、支えあいの町づくりをめざしています



健康づくりに地域みんなで楽しく取り組む

お年寄りが地域でいつまでも元気に過ごしていくために、無理なく、楽しく参加できる活動が企画されています

課題

- ・お年寄りの引きこもりは、認知症や寝たきりにつながる恐れがある

課題を解決するための手法



- ・お年寄りの閉じこもり予防として、みんなで顔を合わせて楽しめるイベントを企画する
- ・毎年違った企画とすることで、マンネリ化を防ぐ

南大江健康ウォーク (南大江)

- ・地域のお年寄りやスタッフなど 100 名近くの方が参加
 - ・行先は歴史や文化に触れることができる地域で、毎年変更しマンネリ化を防ぐように努めています
 - ・地域 みんなで足の不自由な方を支えながら歩くなど、地域の絆が深まる事業になっています
- ★渥美地活協では、この事業を参考に同様の取組みがはじまりました



たまつくり健康ハイキング (玉造)

- ・マキノ高原と熊川宿など、2~5 kmのハイキングコースと、歴史を学ぶ名所等を組み合わせた健康ハイキングは、100 名の定員が1週間で満員になる人気事業
- ・地域の役員の方どうしの楽しみとして行っていたものをお年寄りの健康づくりのために、地活協発足を機に事業化したものです



玉造地域健康講座 (玉造)

- ・日本人が要介護になってしまう原因第 1 位の脳卒中。平成 29 年の玉造地域健康講座では、大手前病院の先生による「脳血管疾患の診断と治療・予防について」、お年寄りを中心にたくさんの方が集まりました
- ・近隣の医療機関・医師を招き、がん、認知症、脳卒中など、毎年テーマを変えながら、講演会と地活協の構成団体にもなっている医療機関の協力のもと、無料健康診断を行っています



芦池健康教室 (芦池)

- ・「芦池健康教室」は、薬剤師会に所属している運営委員の提案から実現しました
- ・内科、耳鼻科、皮膚科、整形外科、薬剤師など、毎回テーマを変えながら講演会。内容は、ふだんの暮らしで気になっている病気のこと。説明はとてわかりやすく、参加者の質問に、気軽にアドバイスしていただけるので、日ごろ病院では、なかなか聞くことのできない不安や悩みを相談、解消できる人気の事業です



マンションなど建設段階から地域との関係をつくる

新たに建設されるマンションの入居者と地域の関係づくりに向けた取組みが功を奏しています

課題

- ・新たに建設されるマンションの入居者は、地域活動に参加しない人が多い
- ・最近のマンションはオートロックであるため、建設後は入居者と関係を築きにくい

課題を解決するための手法



- ・マンションなどの建築時に建築主や事業者と協議の場をもち、町会加入など地域との関係を築く協定を締結する
- ・部会を立ち上げ、対応方針をまとめたガイドラインを作成し、定期的に情報共有する

建設ガイドライン (中大江)

★ マンション建設に向けたガイドラインを作る

- ・マンション建設後に、マンションの居住者とコミュニケーションが取りにくいことが課題でした
- ・そのためにも、マンション建設前から、建設事業者とコミュニケーションを取れる仕組みづくりが必要です
- ・地域では、そうした課題に対して部会を立ち上げ話し合いを重ね、マンション建設に向けたガイドラインを作りました
- ・ガイドラインには、地域の組織体制と地域内で建設行為を行う際の協議、協定の締結手順、その際のポイントとなる「事前相談」「環境整備」「町会加入」「まちづくり協力」の4点についての説明が記載されています

★ 建設事業者と地域に配慮を求める協定を締結する

- ・解体や新築工事の情報があれば、建築主や建設会社等にアプローチし、ガイドラインを基に説明します
- ・また、近隣説明会の要請、児童の登下校時の安全や近隣の騒音などの配慮事項を定めた工事協定や入居者の町会加入などを定めた管理協定などを締結しています

中大江地区内での建設にあたって

～中大江地区まちづくり建設ガイドライン～

中大江地区まちづくり協定書

中大江地域活動協議会 中大江地区まちづくりに関する協定書の内容について

中大江西連合振興町会を形成する10町会では、「自分たちのまちはまず自分たちの手で」を合い言葉に中大江西部地区まちづくり研究会を平成19年に立ち上げ、まちづくり活動の一環である「安心して住み続けられる暮らしへの支援」として平成23年に「中大江西部地区建設ガイドライン」を策定。平成27年度には中大江地区と中大江西部地区の地域活動協議会が合併して中大江地域活動協議会になったことから、東西双方が協力して中大江地区全体で「中大江地区建設ガイドライン」活動を推進することになりました。

運用にあたっては各町会が主体となり必要な事項を決定いたしますが、ガイドラインによって一定の共通事項を本協定書に盛り込み、これらの目的が達成できる事業者の方へ協力をお願いするものです。

ガイドラインでは、大きく「事前相談」「町会加入」「環境整備」「まちづくり協力」の4つの項目を定めています。

「事前相談」では、地区の敷地内で行なわれる駐車場の設置、物置場所としての活用、イベントの開催、建築物の建築、解体、既存建物への入居（店舗利用含む）等、中大江西部地区への居住や事業の開始等を伴うことを「建設」行為として、あらかじめその内容について事前に当該町会長へご説明いただくよう定めております。これらは自ら事とするに「いつのまにか知らないものができた」ということの無いよう、お互いが理解しあいがら暮らしましょうというごとのことです。

「町会加入」では、地区内に暮らす方々に町会への加入をお願いしております。町会には皆さんの町会費で街灯整備、各種情報の提供、ふれあい運動会や盆踊りなど中大江地区のイベント、まちづくり運営などに充てています。地区に暮らす方はこの町会費によってさまざまな公益を受けています。全員加入を目指すところは強制はできませんので、皆様のご理解によるご協力が大きく、特に事業者の方には町会加入を入居条件とすること、事業者が一括または一部負担をするなど、できるだけ町会加入を推進していただきたいと思っております。

「環境整備」「まちづくり協力」では、建設ガイドラインが建設行為に対する物理的な規制ではなく、人と人との接点を増やすためのガイドラインの主旨から、この項目では各町会単位でご協力願いたい事項として、例えば看板の設置、駐輪場等の整理整頓等について個別に協議をしますが、安全面や防犯面で工事に伴って重点的に考慮していただきたいことなどを記載しています。また、地区内での防災訓練、町会イベントへの参加、いちのかプル推進等に積極的に関わることによってコミュニティを豊かにします。まちづくりの協力についても協定に定めています。

建設にあたっては以上の事項について、双方が理解の上内容を決定し、協定書として当該町会と事業者が交わります。

なお、建設事例によって内容は異なるため、細目については協議内容を蓄積したものを別途添付書類としてご提示し、他に詳細内容を定めた協定書が必要となることもあります。一般に建設業者と交わす工事作業時間や車両通行等の協定書などは本協定書とは主旨を異にするもので別途協定書をお送りいたします。

お互いが一歩を向いているのでは住みやすい環境はつくれます。お互いさまの心を持って中大江地区をより良いまちにしていきたいと思っております。

平成 年 月 日

中大江地域活動協議会

事前相談

- 中大江地区組織
- 町会規約
- 事業者
(関係者連絡先等)
- 近隣説明
- 協定書
(計画、工事、運営内容等)
- その他

環境整備

- 事業内容
(風俗規制等)
- 建物形体
(管理人設置、見えがかり等)
- 街灯、掲示板等
(整備協力等)
- 事前調査
(工事着手前調査の実施等)
- 環境、景観、防災、備蓄等
- その他

町会加入

- 町会加入
(町会への加入、企業会員)
- 工事協力
(町会員、隣接町会への周知)
- 重要事項説明
(町会加入事項の記載等)
- 継承事項
(町会加入の継承、申渡し)
- その他

まちづくり協力

- 各種イベント
(桜まつり、ふれあい運動会、盆踊り、子ども太鼓、餅つき等への協力)
- 防災訓練
- 子育て支援
- その他

「中大江地区まちづくり建設ガイドライン」4つのポイント

企業の協力で地域活動を多様化する

中央区では、企業は身近な存在であり、企業との連携はいろいろな可能性が期待されます。近年、CFK（中央区フィランソロピー懇談会）の協力で、新たな企業連携が進んでいます

課題

- ・ 地域の企業とのおつきあいが少なくなっている
- ・ CSR（社会貢献）活動など企業も地域活動に関心を持っているものの、連携が進まない

課題を解決するための手法

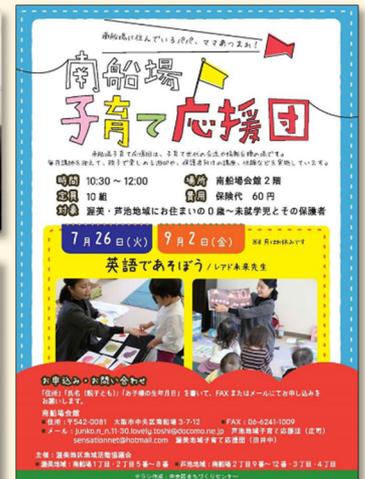


- ・ CSR（社会貢献）活動に意欲的な企業と連携する
- ・ 防災など課題を共有しやすいテーマを設定し、企業の特長を生かした連携を行う

南船場子育て応援団（渥美・芦池）

★ 企業と連携し、事業を充実させる

- ・ 南船場子育て応援団は、子育て世代の交流や情報交換を目的に立ち上げました
- ・ 毎月講師を迎えて、親子で楽しめる遊びや、保護者向けの講座、体験などを実施しています
- ・ 参加者と地域のお世話役の方が気軽に話してできるサークルのような関係を構築しています
- ・ 英語でのリズム遊びなどが人気ですが、企業（POLA THE BEAUTY 心斎橋店）の協力による子育て中の母親向けのハンドマッサージも好評を得ています



インターネットでの広報活動（桃谷）

★ SNSを活用して、若い世代に情報発信

- ・ 「多くの方が地域活動に参加する窓口的役割にしたい」とホームページを立ち上げました
- ・ 一部の担当者に負担がかたよらないよう、毎月、ホームページ企画会議で集まって、掲載内容を確認し行事などの告知・報告をおこなっています
- ・ イベントなどのスケジュールのほか、地域の歴史も紹介されている、読みごたえがあり、かつ見やすいホームページになりました
- ・ 地域内外の企業（奥進システム、ナチュラル PC）の方に講師にきていただき、情報発信に関するメリットや注意点、効果的なインターネットの活用方法などを、みんなで学び、理解しながら、時間をかけて取り組みました



地活協設立以前から引き継がれている伝統事業

中央区には、豊かな地域の歴史のもと、各地域に個性があります。地域の資源を活用し、個性的なにぎわいづくり、交流事業が行われています

課題

- ・定番の活動は、長年つづけているとマンネリ化や担い手、参加者の固定化が課題に

課題を解決するための手法



- ・長くつづいている事業には、当初の熱い想いやたいへんな苦勞を乗り越えた歴史、そして、当初の想いをひきついだ大切な理念があり、たいへん参考になります

たまつくり盆おどり大会（玉造）

- ・「中央区の盆おどり（正確には旧東区の盆おどり）より古いんやで」と話す会長。例年二日間（8月第一土日）で約4,000人が参加しているたまつくり盆おどり大会は、令和元年で第34回目となりました
- ・当初、青年会主催でスタートし、城南と玉造の両連合振興町会の協力のもと、小学校区単位で一体となって盛り上げようと、その後は玉造校下社会福祉協議会の主催となりました
- ・たくさんの子どもが参加し、わきあいあいとしたふんいきが評判。その秘訣は、各団体が工夫している屋台と基本「50円」という昔から変わらない価格設定、そして、安全な学校が会場になっていることにあります



サークルちゅーりっぷ（子育て応援団）（金剛）

- ・中央区内にまだ子育てサークルがなかった平成10年、区民の有志が、保健師さんのサポートを受けて、「なにわベビーズ」という自主サークルを立ち上げました。「サークルちゅーりっぷ」は、その有志が地元の金剛会館で立ち上げた歴史ある子育てサークルです
- ・活動は、他地域との意見交換などを通して、さまざまな人とのつながりによって支えられています。講師を紹介してもらったり、企業（スターバックス、ファミリーマートなど）の協力など、新しい情報がどんどん入ってきています。ママたちや子どもたちの希望にも添えるように、気になったことは何でもやってみるのが、サークルちゅーりっぷのスタンス。マンネリ化せず、長くつづく活動につながっています



中大江校下子供太鼓巡行（北大江・中大江）

- ・いくたま夏祭りにあわせて、子どもたちが練習を重ねた太鼓の音と掛け声を響かせながら、子供太鼓が中大江校下を巡行します
- ・地域の役員、PTAの方たちの支えもあり、伝統を子どもたちに伝え、受け継ぎながら、子どもたちの夏の思い出として、年々、参加者が増えている大好評の事業となっています



課題

- ・地域の資源を活かしきれておらず、地域の個性を發揮した事業に取り組めていない

課題を解決するための手法



- ・音楽、寄席、伝統文化、公園、水辺など、各地域の資源を探し、地域の個性豊かな事業を企画する

北大江たそがれコンサート（北大江）

★ 地域の特徴を活かしたコミュニティづくり

- ・北大江地域は楽器工房や楽器商が集まる音楽のまちという特色を活かし、毎年10月に一週間にわたって、ライブコンサートを開催
- ・2019年には北大江公園や界隈のお店のほか、八軒家浜の川辺にまで会場が広がりました
- ・まちに住む人だけでなく働く人にも都心の暮らしの魅力を実感してもらえるように、継続的に地域住民やさまざまな団体、企業等が連携して手作りで取組み、文化的な交流の輪を広げています



伝えていきたい船場の思い出講演会（浪華）

★ 伝統を受け継ぎ、後世に伝えるとともに、地域の輪を広げる

- ・街の活性化を願い、船場文化を伝える「船場まつり」の開催日とえっさんの日に合わせて開催しました
- ・船場まつりに合わせて、船場の歴史と文化を紹介する講演会を開催しています



河原連合盆踊り大会（河原）

★ かつて開催されていたイベントを地域一丸となって復活

- ・かつて地域で行われていた盆踊り大会を復活
- ・千日前道具屋筋商店街が立地する地域がら、提灯、屋台の準備などで商店街と連携しました
- ・子育て層もブースを担当するなど、多様な関係者が、そのノウハウを結集
- ・地域ぐるみで行事の内容、設営、資金、担い手など、一から話し合っって企画することで、地域の一体感が高まりました



第六回 河原連合盆踊り大会

日時 7月28日(日) 夜6時～9時30分

場所 難波千日前公園 河原会館(難波千日前5-25)

主催 / 河原連合盆踊り会 河原地区地域活動協議会

問合せ先 / 河原会館 06-6641-7715

桃谷おもろい塾・子ども野外調理体験 (桃谷)

★ 子どもたちへの地域教育

- ・「桃谷おもろい塾」は学習塾や習い事に行く子どもが増えるなかで、「暮らしている地域のことをもっと知ってもらおう」という想いから生まれた小中学生を対象にした活動
- ・まちあるきや昔遊び体験、ものづくり教室、科学実験教室、野外宿泊体験など、地域の資源や地域に住んでいる人の知識や技術を活かして、企画・運営
- ・子どもがわくわくする企画を考え、おもろい塾をきっかけに、子どもたちに地域に愛着を持ってもらい、子どもたちや親子で地域の別の活動にも興味をもってもらい、新たな地域の担い手につなげようと考えられています



★ 地域に住んでいる方の知識や技術を伝える

- ・野外調理体験では、屋外でカレーづくりを実施
- ・都心に住んでいる地域の子どもに、使い慣れないマッチやライターを使った火起こし体験や薪を使った飯ごう炊飯など、普段なかなか経験できない体験をしよう場となっています



11月17日(日)・午前9時～午後1時
空堀桃谷公園・桃谷会館
中学生・小学生 **野外調理体験**

青空の下で、カレーを作って
みんなでいっしょに食べよう!

参加費 無料
雨天決行

★薪を使って、飯盒と大釜でご飯炊きます。
★屋外でカレー作り、みんな そろって食べます。
★火起こし体験。
マッチやライターを使わずに、昔ながらのやり方で火を起こします。

●対象：小学生・中学生(小学3年生以下は保護者同伴)
●持ち物：タオル・帽子・エプロンなど
●定員：小学生・中学生 60名
★事前受付で希望のメニューは「メールで」知る・連絡先・希望をお知らせください。
【メール先】：k1717@momoiro.or.jp

桃谷連合地域活動協議会・子ども部

船場ガイドブック「船場人」 (愛日・集英)

★ 船場の暮らし、船場の歴史、街並みを知ってほしい

- ・「ようこそ船場へ」という歓迎の思いを込めて、船場の歴史や暮らしを紹介するガイドブックを発行
- ・船場をより知ってもらうために、普段から船場で暮らし、働き、遊んでいるところや携わっている人のインタビューなどを丁寧に紹介しています
- ・ガイドブックを手に船場のまちを散策し、魅力と素顔を肌で感じられるツールとして、2012年から毎年秋に発行

萬もびくり 青山ビル不思議



坂の不思議な管柱は



寝ている船のお話 Part 1



未来へ受け継がれる 床車の幻想!



今日からあなたも船場人! 船場ガイドブック 2019

今日からあなたも
船場人
SEMBA JIN

船場ガイドブック 2019

船場倶楽部 SEMBA CLUB
集英地域活動協議会

今日からあなたも船場人! 船場ガイドブック 2019

目次

- 船場MAP
- SEMBAガイドの巻
- 船場のあすだて
- 船場生活手帳
- 船場保家
- 船場伝説

その魅力と高麗を感じていただければ、私どもにとってもこれに勝る喜びはありません。

船場とはどんなまち

船場の位置と特徴

船場は、江戸土産品、船具(船具屋)の産地(船具屋街)として、西は豊洲(目黒川)東は豊洲(豊洲川)に面する。大船に上り、船具(船具屋)の産地(船具屋街)として、西は豊洲(目黒川)東は豊洲(豊洲川)に面する。大船に上り、船具(船具屋)の産地(船具屋街)として、西は豊洲(目黒川)東は豊洲(豊洲川)に面する。

船場400年のあらし

船場は、寛政5年に大船具屋(船具屋)の産地(船具屋街)として、西は豊洲(目黒川)東は豊洲(豊洲川)に面する。大船に上り、船具(船具屋)の産地(船具屋街)として、西は豊洲(目黒川)東は豊洲(豊洲川)に面する。

水運の拠点から船場へ

江戸時代、船場は、大船具屋(船具屋)の産地(船具屋街)として、西は豊洲(目黒川)東は豊洲(豊洲川)に面する。大船に上り、船具(船具屋)の産地(船具屋街)として、西は豊洲(目黒川)東は豊洲(豊洲川)に面する。

船場大の中心から町文化の発信

江戸時代、船場は、大船具屋(船具屋)の産地(船具屋街)として、西は豊洲(目黒川)東は豊洲(豊洲川)に面する。大船に上り、船具(船具屋)の産地(船具屋街)として、西は豊洲(目黒川)東は豊洲(豊洲川)に面する。

近代化による大発展

明治時代、船場は、大船具屋(船具屋)の産地(船具屋街)として、西は豊洲(目黒川)東は豊洲(豊洲川)に面する。大船に上り、船具(船具屋)の産地(船具屋街)として、西は豊洲(目黒川)東は豊洲(豊洲川)に面する。

新しい船の魅力を求めて

現代、船場は、大船具屋(船具屋)の産地(船具屋街)として、西は豊洲(目黒川)東は豊洲(豊洲川)に面する。大船に上り、船具(船具屋)の産地(船具屋街)として、西は豊洲(目黒川)東は豊洲(豊洲川)に面する。

地活協のご用命なら



中央区まちづくりセンター

活動ヒント集に関する問い合わせ、新たな事業の企画や運営に関するご相談は、中央区まちづくりセンターまでお問合せください。

中央区まちセン
ホームページ！



facebook

